

令和8年度 福島町立福島中学校 グランドデザイン

学校教育目標

- 1 主体的に学び、知識を深めて個性や能力を伸ばす
- 2 多様性を尊重し、お互いに高め合う
- 3 郷土への愛着と誇りをもち、未来を創造する

関係法令等

北海道教育推進計画
渡島管内教育推進の重点
福島町教育目標

時代の要請

これまでの実践や蓄積を活かしつつ、子供たちが未来社会を切り拓くために必要な資質・能力を習得する。
・学習指導要領
・小中高連携 ・働き方改革

めざす学校像

- 教育活動を充実させ、
生きる力を育む学校
- 多様性を尊重し、
豊かな心をはぐくむ学校
- 家庭、地域と連携し、
信頼される開かれた学校

めざす生徒像

- 自ら学び粘り強く
取り組む生徒
- 他者を理解し、思いやりを
持って接することの
できる生徒
- 課題を乗り越え、
自己実現を目指す生徒

めざす教師像

- 学びの伴走者となる教師
- 人間性と指導力を
磨き続ける教師
- 課題に連携と協働して
取り組む教師

生徒の状況

- ・真面目に授業や教育活動に取り組む姿勢
- ・基礎学力や家庭学習習慣の確立で二極化
- ・「思考・判断・表現」の資質向上が必要
- ・やるべきこと（学習課題、自分の仕事等）をやりきる習慣
- ・自己肯定感、自己有用感の向上（低い生徒への配慮）

重点教育目標

「主体的に学び、考え、行動し、
自己実現を目指す生徒の育成」

保護者・地域の願い

- ・基礎学力・学習習慣の定着
- ・人間関係を築く力
- ・表現力、思いやりの心
- ・コミュニケーション力
- ・自主性

<学びの基礎となる資質・能力の育成>

- 1 主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善（思考力・判断力・表現力の向上）
- 2 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得（家庭学習・自主学習への主体的な取り組みと時間確保）
- 3 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（1人1台端末の効果的活用による深い学びの実装を目指す）
- 4 指導と評価の一体化に向けた学習評価の改善（単元ごとに計画した評価の実践）

<幸福や生きがいを感じる学びを実現>

- 1 「わかる」「できる」を実感できる授業、教育活動（ユニバーサルデザインの視点による授業、個に応じた指導）
- 2 人間性を認め合い、お互いを尊重し合うことを考える教育活動（全校体制の道徳、いじめ撲滅集会等の充実）
- 3 多様な考えを協働的な学びの中で認め合い、最適解を見出す教育活動（授業、特別活動、生徒集会等での協働的な学び）
- 4 生徒が主体性、自主性を発揮し達成感を得ることができる教育活動（自己肯定感、自己有用感を得ることのできる教育活動の実践）

<学校教育により地域を活性できる学校づくり>

- 1 持続可能な社会の創り手となるための自分のことをよく知り、未来を考えるための教育活動の充実（キャリア教育）
- 2 ふるさとの産業、伝統を学び、体験し、未来のために何をすべきかを考え、まとめ、伝える教育活動の整理と実践（総合的な学習の時間の学びと表現活動）
- 3 保護者や地域住民へ本校教育活動の積極的な公開と発信（HP活用による発信と参観機会の効果的な設定）
- 4 学校運営協議会、町とともに生徒の安全・安心を守る教育活動の充実（合同避難訓練、一日防災学校、避難所運営等、災害事案対処時の連携強化）

<よりよい学校を築くための組織体制の確立>

- 1 学校評価、調査結果等を活用した学校運営の継続的な改善（効果的、効率的な教育活動の創出）
- 2 業務や部活動業務の分担の明確化と共通理解に基づいた連携指導の充実（チームとしての分担と連携）
- 3 保護者・地域との持続可能な連携体制の構築・充実（外部人材活用、協力・協働体制）
- 4 主体性のある業務効率化と心理的な安全を確保した働き方改革の推進（教師の心身の健康と生徒への教育の質の確保）